



2023年4月10日

報道関係者各位

慶應義塾大学

カリフォルニア大学バークレー校教授 デービッド・J・ティース氏に 慶應義塾大学名誉博士の称号を授与

慶應義塾大学は、カリフォルニア大学バークレー校ハース経営大学院教授デービッド・J・ティース氏に対し、経営学、戦略経営論、そして企業理論の発展において多大な貢献を果たしたこと、また戦略経営分野の最新理論であるダイナミック・ケイパビリティ論の創始者としての功績に敬意を表し、慶應義塾大学名誉博士の称号を授与することになりました。4月25日（火）に名誉博士称号授与式、記念講演会・シンポジウムを開催いたしますので、ぜひご取材をよろしくお願いたします。

1. 名誉博士称号授与式

日時：4月25日（火） 14:00～14:45 （13:50までにご入場ください）

会場：三田演説館（慶應義塾大学 三田キャンパス 東京都港区三田 2-15-45）

交通アクセス <https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>（マップ【15】）

言語：英語

2. 記念講演会・シンポジウム

日時：4月25日（火） 15:30～17:00 （開場：15:00）

会場：北館ホール（慶應義塾大学 三田キャンパス）

交通アクセス <https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>（マップ【10】）

演題：ダイナミック・ケイパビリティと戦略経営（仮）

言語：英語

3. デービッド・J・ティース氏について

ティース氏は、1948年にニュージーランドで生まれ、カンタベリー大学を卒業、ペンシルバニア大学で経済学の博士号を取得しました。現在、カリフォルニア大学バークレー校ハース経営大学院教授を務めるティース氏は、「急速に変化する環境に対処するために、社内および社外の能力を統合、構築、および再構成する企業能力」と定義されるダイナミック・ケイパビリティ・パースペクティブを開発した人物でもあり、今日、世界で最も注目されている経営学者の一人です。

Science Watchによると、ティース氏は1995年から2005年まで経済学および経営学分野で最も引用された論文の著者であり、過去10年間で引用された学者トップ10人の1人です。ティース氏は、2003年に、Strategic Management Journal の Best Paper Prize Award : 「Dynamic Capabilities and Strategic Management」を受賞し、さらに同年に戦略経営論およびビジネス経済学における Viipuri 国際賞を受賞しました。

また、ティース氏は、2011年にハーバート・サイモン賞を受賞し、同年、経営学者のAリスト教授（30人の著名な米国のビジネス教授グループ）の1人に出選されました。2013年には、ニュージーランドから勲章を授与されたほか、国際ビジネス学会の優秀学者賞を受賞し、2018年には戦略経営学会から優れた研究者・実践者賞も受賞しています。

ご取材の際には、メールに以下の必要事項を明記の上、【4月18日（火）まで】にお申し込みください。

- ・宛先： m-pr@adst.keio.ac.jp（慶應義塾広報室宛）
- ・件名：【4/25 慶應義塾大学名誉博士称号授与式】取材依頼
- ・必要事項：①取材希望（式典／記念講演）②貴社名・貴部署名 ③担当者名 ④合計人数 ⑤当日連絡先
⑥カメラ取材の有無（スチル・ムービー）

※恐れ入りますが、お車での入構はご遠慮ください。また、電源は提供していません。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部、教育部、国際部等に送信しております。

【本発表資料のお問い合わせ先】慶應義塾広報室（豊田・和田）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>